

南の風、吹かそう皆で!

宮崎南ロータリークラブ
会長 早瀬清則

第2005回例会 2019.5.27

会長 / 早瀬清則 幹事 / 山地久守
副会長 / 小園隆司 会報 / 三重野孝
例会場 / 宮崎観光ホテル
ソング / 日も風も星も
ロータリーの目的

会長挨拶

早瀬清則会長



皆さんこんにちは。今日のお客様は、職業奉仕賞を授賞されます川崎幸勇様です。ビジターは宮崎南ロータリークラブから、前園喜彦様です。オブザーバーとして、大浦商店社長の大浦秀幸様です。

どうぞごゆっくりお過ごしください。

先週はずっと晴れの日が続きました。今日も又も良い天気です。その前の週は、鹿児島と宮崎に大雨注意報が出るくらい降り、その雨で新緑が、一気に色濃くなりました。今、正に風薫る5月であります。この良き日に我がクラブの職業奉仕賞の授与式が出来ます事を大変嬉しく思います。

私がこのクラブに入会させて頂いたのは6年前の2013年度でした。この南クラブから大迫ガバナーが誕生され、地区大会では全員がホストクラブの役員として、大変活躍された年でした。

この時、大迫ガバナーは、(ミッション・パッション・ビジョン)を地区テーマにして、その中で第1の目標を「職業奉仕」とされました。

その訳は、「ロータリーの基本は、職業奉仕であり、職業、いわゆる仕事こそは、ロータリーが求める最も大事な奉仕である。」という説明でした。

そうであれば、この職業奉仕賞は、ロータリーの

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数 (44)	46名	会員数 (44)	46名
本日欠席者数	11名	ホームクラブ出席者数	32名
本日出席者数	35名	メイクアップ数	3名
出席率	79.55%	修正出席者数	35名
		修正出席率	79.55%

●前々回メイクアップされた方 / 大迫雅浩会員、村田尚一会員、寺村明之会員

ニコニコ BOX 1件 3,000円
累計 242,200円

募金箱 5,683円
累計 159,822円

中で最も価値ある賞では無いかと、私は考えております。

「一隅を照らす」という言葉が有ります。これは、ある人の居る場所や、置かれた立場で 明るく輝く事、あるいはその様な人の意味に使われますが、今日 授賞されます、川崎様は、この一隅を照らす人で有りながら、広域的にも照らす人でも有ります。その訳は後ほど、職業奉仕委員長の高山さんから説明が有ると思います。

いずれに致しましても、今日は職業奉仕賞の授与式であります。先月は、クラブ結成44年目にして、2000回目の例会を達成した事、そして今月5月1日から新しい令和の時代が始まり、目出度い事が続いております。今日はこれらを合わせて共に祝いたしたいと思います。

皆さん最後まで宜しくお願い致します。

ビジター



宮崎西RC

前園善彦会員

Rotary ロータリー情報

●職業奉仕 (Vocational Service)

ロータリーの第2奉仕部門。その目的には、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことが含まれる。クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれる。また、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

幹事報告

山地久守幹事



・鹿児島令和ロータリークラブ国際ロータリー正式加盟の報告が届いています。鹿児島サザンウィンドロータリークラブがスポンサーとなり令和元年

(2019年) 5月1日

に鹿児島市内グループ11番目のクラブとして設立しました。併せて、2019年6月16日(日)に鹿児島令和ロータリークラブ認証伝達式並びに祝賀会が開催されます。日時等の詳細は事務局にお問い合わせください。

・2019年6月16日(日)、メインホテル(都城市)にて、青少年交換留学生報告会(10:30~12:00)・壮行会(12:00~14:00)が開催される旨案内が来ていま

す。2018年8月より青少年交換留学生として受け入れしているフィンランドのSofia Emilia SALMIさん、ポーランドのIga SMORZEWSKAさん、台湾の莊詠超くんの留学が満了しようとしています。また、2019年8月から4名の留学生の派遣が決まっています(宮崎南高校の安川紬さん、宮崎日大高校の岩切まつなさん、宮崎学園高校の野田美里さん、鹿児島修学館高校の上田平歩樹くん)。

・第14回地区インターアクト研修会及び地区連絡協議会の案内が来ています。

日時: 2019年6月8日(土)・9日(日)

※6月8日(土) 13:30~17:00

(受付13:00~)

6月9日(日) 9:00~12:00

※交流会 6月8日(土) 17:30~19:30

その他の詳細は、事務局にお問い合わせください。

・第7期RLI-2730パートIの案内が来ています(再)。下記要領で開催されます。とても勉強になると思いますので、多数の方が参加されますようお願い致します。

日時: 2019年7月14日(日) 9:20~15:30

(受付9時~)

場所: 宮崎日本大学高等学校

(宮崎市大字島之内6822-2)

登録料: 2000円、弁当代1000円

締め切り: 6月25日(火)まで

次年度幹事報告

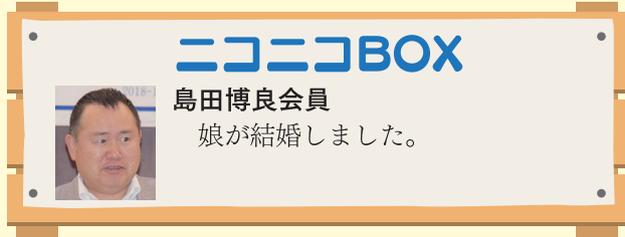
大迫雅浩次年度幹事



・新クラブ役員理事会参加のお願い
(6月3日 17:30~)

・新旧クラブ協議会参加のご案内
(6月3日 18:00~)

新年度の委員会活動計画書の提出がまだの方は早々をお願いします。



職業奉仕賞

●川崎幸夫様



本日のプログラム

会員卓話

高瀬俊彦会員



黒北発電所

明治40年(1907)に完成した水力発電所で、宮崎県で最も古い電気事業用発電所です。石造では日本で2番目、現役では国内最古、宮崎県内第1号の国の登録有形文化財として登録されています。

事業家の大和田伝蔵氏が県内の有志とともに設立した「日向水力電気株式会社」が建設したもので、火力よりも燃料費が少ない水力発電が選ばれました。ここで作られた電気で当時の宮崎町に明かりがもったのは明治40年8月1日。

清武川の水を1秒間に1,670リットル使って、住宅200軒分の電気を作っています。

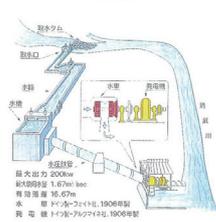


発電所外観



No.1

発電所概要



発電所入り口に建立されている記功碑



随文

ある日、衆同輩が汽車に乗っていると、隣の席で「国を発展させるには工業をおこさねばならない。そのためには水力発電所を造り工場の動力に電気を使うことだ」と熱心に話しているのを耳にした。柴岡氏は、この話に感動し日夜考え続けた。ついに明治33年大和田伝蔵と共に賛同者を募り、発電所建設に踏み切った。最初に計画した宮崎市南西部の鶴木川は地形が狭く断崖。翌年、清武川北部に再度計画し、測量や設計も終わったが、経験の無い者が進める事業に対する不安から、投資をする人が少なく建設計画は暗礁に乗り上げた。たまたま四国の松山に電気事業に詳しい、才賀藤吉という人が居ると聞き、柴岡・大和田両氏は松山に向いた。対面してみると才賀氏は、数年前途中で降り合わせたその人だった。お互いその奇遇に驚くと共に堂々投合。宮崎に来た才賀氏は詳細地点を一目見るなり清武川北岸より南岸が良いと判定した。測量してみると才賀氏が云うとおりで、氏の見識の深さに皆感服した。しかし、府県配合や日露戦争の勃発などで建設は再度中断した。ようやく明治39年5月、日向水力電気株式会社を設立。資金10万円を投じて工事開始、明治40年7月に完成、8月から営業を開始した。伝統の便利さを知った人々は基礎まで使用するようになり、夜もこうこうと不夜城のようになり、文明の灯りはたちまち広がっていった。ここに創業者の苦難と功績を記して永遠に伝えたい。

明治44年10月 日向水力電気株式会社建立



日向水力電気株式会社
初代社長 才賀藤吉



竣工当時の黒北発電所

No.2

清武石

清武石とは・・・約2万5千年前に始良火山の大噴火により南九州一帯に巨大火砕流(入戸火砕流)が起こりました。その巨大火砕流の規模は雲仙賢岳の40万倍とも言われ、堆積した火砕流堆積物は場所によっては百メートル以上にもなり、約700～800度の高温を帯びて厚く堆積した火砕流堆積物は自重と高温により溶け下部ほど圧縮されました。やがて徐々に冷えて固まり岩となり、このようにして出来た岩は溶結凝灰岩と呼ばれ宮崎県内でも各地で産出された。昔はそれぞれの地区名をとって「〇〇石」と様々な呼び名があったが、清武で産出される溶結凝灰岩を総称して清武石と呼んでいます。

採石場

採石場は、20～30m程あります。上部には赤土が2～3m程あり、それから下は白砂です。10m程掘り下げると徐々に白砂が硬くなりやがて崩石や墓石等に使える程の硬さになっていきます。更に、掘り下げるとピカピカに光る程硬くなります。



平和の塔



民家の納屋



清武隧道



No.3

